

7	6	5	4	3	2	1
絵を 見て お話を 書こう ○ものの 名前を あらわす ことは ―ニャーゴ― そうぞうを ふくらませて 読もう	しを 読もう ― いろんな おとの あめ― ― 空に ぐうんと 手を のばせ― みんなで はなしあおう	二つの 文しようにを くらべ ― どうぶつえんの かんばんと ガイド― 言いつたえられて いる お話を 知	○じゅんじょ こんな ことを して いるよ 話そう、二年生の わたし	○か すきな ― 名前 ことは ちようだい―	はたらく 人 たんぽぽの ― たんぽぽ かんさつした ことを 話を 聞こう みつ	○はなしたい、ききたい、すきな こと お話を 音読しよう ― 風の ゆうびんやさん― ○としよかんへ いこう ○かん字の かき方
						
						
						

児童用

教師用

聞き取り問題



一 つぎの文しようを 読んで、 もんだいに こたえましよう。

『65』

「あげはちようさん、ゆうびんです。」
花びらみたくない、いいにおいの 手がみが
とどきました。

「あら、うれしい。パーの しようたい
じようですって。こうえい、らの 花が
さいたんですって。ぜひ、ちや。」
おしやれな あげはちよ

「犬さん、びんです
にわの 犬、おしやれな ところ
には、はがきが
「ほう。となり町に
ごたちからだ。み
います、か。う。か。よかった。」
犬は、目を にくして、た。も なんと
も はがきを 読みなおします。

「すずめさん、ゆうびんです。」
こんどの 手がみは、やねの 上。
、風の じてん車は、
どこにでも はいたつします。
「すずめの 学校が はじまる おしらせよ。
手がみを 読んで、すずめの
おかあさんが 言いました。
「学校って、なあに。
なに する ところなの。」
この はる 生まれた 子すずめたちが き
きました。



「みんなであそんだり、うたを うたったり
するのよ。
とびかたとか、えさの さがしかたとか、い
ろんな ことを ならうのよ。」
「わあ、おもしろそう。早く いきたいな。」
子すずめたちは、みじかい はねを ひろげ
て、おかあさんの まわりを
とびまわりました。

たけしたふみこ「風のゆうびんやさん」より

1 〔 〕にあてはまる ことばを

〈40各10〉

やっぱりでも いそいそ
それからすると ぴよんぴよん

（解答欄にかくように説明を補足してください。）

2 ① いい においとは どのような
においですか。一つ えらんで、

（ ）に ○を つけましよう。 〈5〉

（ ）花びらみたくない におい。

（ ）おいしい みつの におい。

（ ）おしやれな ふくの におい。

② よかった、よかった。」は、どのよ
うに 読 よいですか。「く 読
む。」と う ばを つかつて、
かきましよう。 〈10〉

4 あ、おもしろそう。」は、だれが
こと ですか。 〈10〉

3 つぎの 赤で した 画は、
「子で かな ですか。」（ ）に
かきましよう。 〈15各5〉

左 右 正

三 〔 〕に かん字を かきましよう。

〔20各5〕

げん き

1 〔 〕に くらす。 2 メモに かく。

かず

3 もの 4 としよかんへ かく。

一 三田先生の話を聞いて 三田先生がしている しごとについて 正しいものに ○を、まちがっているものに ×を つけましょう。

『15各5』

- () けがをした 手あてをする。
- () きゅうしよくを つている。
- () ほけんだよりを つける。

二 つぎの 文しように 読みましょう。

45

たんぽぽの じよう 草、はが ふまれたり、 たり、ま た 生えて き。 生きて、ま

あたらしい はを

を ほって

みました。なが ねです。センチメー トルいじようの ものも あ。した。

はるの はれた 日に、花が ます。 花は、夕方 日 が かげると、とじて し

まいます。夜の あいだ、ずっと とじて います。つぎの 日、日 が さして くる

と、

ひらきます。

花をよく 見て みましょう。

一つの 花のように 見えるのは、

花の あつまりなのです。

小さな 花を 数えて 見たら、百八十も

ありました。これより おおい ものも、 少ない ものも あります。この 小さな

花に、みが できるよう

になって います。

ひらやまかずこ「たんぽぽ」より

一 文しように中の に あてはまる ことばを から えらんで 書き ましょう。

〈20各5〉

大きな 小さな 一つずつ み ね しかし また

(解答欄に書くように説明を補足してください。)

2 たんぽぽの はが ふまれたり、つ みとられたり しても、また 生えて くるのは なぜですか。「くから。」と いう ことばを つかって 書きま しょう。

〈10〉

3 たんぽぽの 花は、一日の うちに どうなる でしょうか。 に あ てはまる ことばを 文しようにから らんで 書きましょう。

〈15各5〉

夕方 日 が した 日に、さく。 とじる。

た、ずっととじている。

三 の回り かんさつして のように 書く、くとき、ど もの に、ちがつて いる

「かんさつした」を、

『20各5』

「かんさつした」を、

「かんさつした」を、

「かんさつした」を、

() きよう、あった できごとを 書く。

四 に かん字を 書きましょう。

『20各5』

一 わた げ 2

わり

き いろ 3

の花。 4

い。

おお かん 3

一 つぎの文しやうを 読んで、 もんだいに こたえましょう。

「あたしは かならないわ。だって、あたしの ぼうしだもん。」

、えっちゃんのかからだ

から 湯気が もうもうと 出て きました。そして、ぐわあんと 大きな 音が しました。

「たべるなら たべなさい。あたしのおこつて いるから、あついわよ。」

湯気を 立てた えっちゃんのか

りました。そして、大きな お、大きな になつて います。えっちゃんのか 手のひらを まつすぐのばして ました。

「あたしの ぼうしを

大男は、ぶるっと した。 ぶるぶる ぶるぶる、 しゃべり、 もれる 風

せんのように、 しゃべり、 しゃべり、 見えなく しま

いました。

③ そのあとに、ぼつんと一つ、

小さな 赤い もの。

「あつ、あたしの ぼうし。」

ひろつて、名前を 見ました。

う、め、だ、え、つ、こ。青い ししゅう糸で、

、そう 書いて ありま

「ああ、よかった。」

あまんきみこ「名前を見てちょうだい」より



一 〔 〕 に あてはまる ことばを から えらんで、書きましょう。

〈20各5〉

しかし また とうとう たしかに すると

2 「あついわよ。」とありますが、どうして あついのですか。「くから。」という ことばを つかつて、書きましよう。

〈10〉

3 大男は、何のように ② しゃべりましたか。文しやうから 九字でぬき出しましょう。

〈10〉

のように。

4 ③ ぼつんと一つ、小さな 赤い ものとは 何ですか。

〈10〉

5 つぎの 〔 〕 に あてはまる ことばを から えらんで 書き

〈15各5〉

お話を した 場めんに分けるときは、お 中の

を か して 考えます。

ジ 声 して 人ぶつ うごき

二

かたかなで書くことばを かなになおして書きま

〈10各5〉

にほん びよびよ ひらひら

三

〔 〕 に かん字を 書きましよう。

〈25各5〉

1 〔 〕 うし あたま 2 〔 〕 3 〔 〕 がい こく

4 〔 〕 けい さん する。 5 〔 〕 した しい。

かんばんと ガイドブックの せつ明を 読んで、つぎの もんだいに ことえましょう。

〔60〕

かんばんの せつ明

アフリカゾウ

すんで いる 場しよ

アフリカ

体の 大きさ

体の ながさは 四 トルか

六メートル

体の おもさは 四

たべもの

くさや、

ガイドブックの せつ明

アフリカゾウ

すんで いる 場しよ

アフリカの そうげんや

森林に すんで います。

体の 大きさ

りくに すんで いる

どうぶつの 中で、もっとも

大きい どうぶつです。

体の ながさは 四メートルから

六メートル あり、体の おもさは

四トンから セトン あります。

たべもの

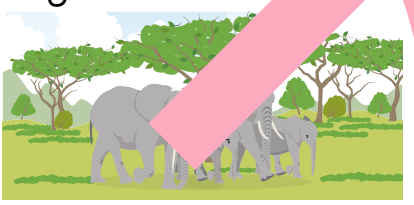
たべものは、しよくぶつです。くさや、

木の えだや は、くだものなどを た

べます。一日の うち、おきて いる

時間の ほとんどは、たべものを たべ

ていると いわれて います。



二つの せつ明には、アフリカゾウの 何に ついて 書かれていますか。
() に あてはまる ことばを 書きましよう。

〔30 各 10〕

○すんでいる ()

○体の ()

○ ()

2 つぎの 文の うち、かんばんとガイドブックの りようほうに 書いてあるものを 一つ えらんで、○をつけましよう。
() りくに すんで いる どうぶつ
の 中で、もっとも 大きい。
() おきて いる 時間の ほとんど
は、たべものを たべて いる。
() くさや、木の えだや は、くだ
ものなどを たべる。
3 つぎの ① から ④ の せつ明は、かんばん・ガイドブック・りようほうのどれに あてはまりますか。あうところを 一つずつ ○を つけましよう。
〔20 各 5〕

せつ明

かんばん

ガイドブック

りようほう

① 見出しが ある。

② しゃし 入っ えが

③ 言いつたえられて

くがわし

二 つぎの 文の うち、かんばんとガイドブックの りようほうに 書いてあるものを 一つ えらんで、○をつけましよう。
〔10〕

三 () に かん字を 書きましよう。

〔30 各 5〕

1 どうぶつ

えん

2

にく

ふと

3

る。

4

おな

じところ。

なが

5

い線。

6

そう げん

一 つぎの 文しようにを 読んで、 もんだいに 答えましょう。

ももを 食べおわると、三びきの 子ねずみと ねこは、のこった ももを もって、かえって きました。

そして、 ところまで 来

た ときです。ねこは、 止まって、

ニャーゴ きました。

① できるだけ こわい か

そして、

② 「おまえたちを 食って、

と言おうと した その

ニャー

ニャー

ニャーゴ

三びきが

「へへへ、たまお

とき、おじさん、

あの とき、おじさ

たんでしよう。そ

よならなんでもし

「おじさん、はい

「みんな 一つず

おみやげ。」

「ぼくは、妹に。」

「ぼくは、おとうに。 たまおじさんは おとう

④ とか 妹 いるの。」

「おれの うちには、子どもが いる。」

ねこは、小さな 声で 答えました。

みやにしたつや「ニャーゴ」より

1 に あてはまる ことばを

から えらんで 書きましよう

すいすいと ぴたっと あと だから

2 できるだけ こわい かおで

「ニャーゴ」と さげんだのは なぜ

ですか。「くから。」という ことばを

つかって、書きましよう。

3 三びきの 子ねずみが さげんだ

② 「ニャーゴ」は、どんな いみでした

か。一つ えらんで () に ○

を つけましよう。

() さよなら () こんにちは

() こわいよう

4 「これ おみやげ」と 言って、子 ねずみは ねこに 何を わたしまし たか。

5 「おれの うちには、子どもが い

④ る」を 音読するとき、どんな 声で

読むと よいですか。一つ えらんで

() に ○を つけましよう。

() おどかすような 大きな 声。

() こまったような 小さな 声。

() こわがっているような ふるえた 声。

① 場所の つながり を 考えて、② の 場め お話を そうぞうして 書きましよう。



くまの 川の おこ きたねの 子が けした。 あそびに 行き 二人は なくなつて いました。 帰って きました。

③



して、二人は ぶじに か ことが できました。

三

に かん字を 書きましよう。

かお

1 はし

2 る。

3 おとうと

4 ち

5 ある

6 だい

7 にく

8 にく

【30 各5】

(例) (教師判断)は、授業での指導をふまえ、記述より判断し、部分点を与えてください。

※無断で複写・複製をすることを禁じます。

東しよ	
2	年
1	国上
令8	
お話を音読しよう	
〇はなしたい、ききたい、好きなこと	
〇風を音読しよう	
〇としよかんへいこう	
〇かん字のかき方	
P12~33	
名まえ	
くみ	
ばん	
点	
評	
知識技能	
思考判断表現	
/35	
/65	

一 つぎの文しようを 読んで、 もんだいに こたえましよう。

『65』

「あげはちようさん、ゆうびんです。」
花びらみたくない、いいにおいの 手がみが
ときました。

「あら、うれしい。パーの しようたい
じようですって。こうえい、の 花が
さいたんですって。ぜひ、ちや。」
おしやれな あげはちよ

いそいそ

「犬さん、びんです
にわの 犬、おしやれな ところ
には、はがきが
「ほう。となり町に
ごたちからだ。み
います、か。う。か。よかった。」
犬は、目を にくして、た。も なんと
も はがきを 読みなおします。
「すずめさん、ゆうびんです。」
こんどの 手がみは、やねの 上。

でも

、風の じてん車は、

どこにでも はいたつします。
「すずめの 学校が はじまる おしらせよ。
手がみを 読んで、すずめの
おかあさんが 言いました。
「学校って、なあに。
なに する ところなの。」
この はる 生まれた 子すずめたちが き
きました。



「みんな であそんだり、うたを うたったり
するのよ。
「それから、じようずな
とびかたとか、えさの さがしかたとか、い
ろんな ことを ならうのよ。」

「わあ、おもしろそう。早く いきたいな。」
子すずめたちは、みじかい はねを ひろげ
て、おかあさんの まわりを

ぴよんぴよん

とびまわりました。

たけしたふみこ「風のゆうびんやさん」より

1 〔 〕に あてはまる ことばを

から えらんで かきましよう。

〈40各10〉

やっぱり でも いそいそ
それから すると ぴよんぴよん

(解答欄にかくように説明を補足してください。)

2 ① いい ② ③ ④ ⑤

① ② ③ ④ ⑤

① ② ③ ④ ⑤

① ② ③ ④ ⑤

① ② ③ ④ ⑤

① ② ③ ④ ⑤

① ② ③ ④ ⑤

① ② ③ ④ ⑤

① ② ③ ④ ⑤

① ② ③ ④ ⑤

「すずめさん、早くいってね。」

「すずめさん、早くいってね。」

4 あ、おもしろそう。」は、だれが

〈10〉

「すずめさん、早くいってね。」

赤で書いた画は、

〔15各5〕

「すずめさん、早くいってね。」

〔15各5〕

左 右 正

三 〔 〕に かん字を かきましよう。

〔20各5〕

1 元気 書く。

3 ものの 数 行く。

4 としよかんへ

行く。

(例) (教師判断)は、授業での指導をふまえ、記述より判断し、部分点を与えてください。

※無断で複写・複製をすることを禁じます。

東 書	
2 年	2
令 8 国 上	
かんざつした	はたらく 人に話を聞こう
かんざつした	たんぽぼの ひみつを見つかけよう
かんざつした	ことを書こう
P 34～53	
名 ま え	
く み	
ばん	
評 点	
知識技能	／40
思考判断表現	／60

一 三田先生の話を聞いて 三田先生が生がしている しごとについて正しいものに ○を、まちがっているものに ×を つけましょう。

『15各5』
手あてをする。

- (○) けがをした
(×) きゅうしよくを
(○) ほけんだよりを

二 つぎの 文しように 読みましょう。

たんぽぼの じよう 草、はがふまれたり、きょうたふまれたり、た 生えてはき。あたらしい はを

たんぽぼの を ほって

みました。ながねです。センチメートルいじょうのものもあ

はるのはれた 日に、花が

花は、夕方 日がかげると、とじてしまいます。夜の あいだ、ずっととじて

と、 また ひらきます。

花をよく 見て みましょう。一つの 花のように 見えるのは、

小さな 花の あつまりなのです。

小さな 花を 数えて みたら、百八十も

ありました。これより おおい ものも、少ない ものも あります。この 小さな

花に、みが 一つずつ できるよう

になって います。

ひらやまかずこ「たんぽぼ」より

一 文しように中の に あてはまることばを から えらんで 書きま

『20各5』

大きな 小さな 一つずつ みね かし また

(解答欄に書くように説明を補足してください。)

2 たんぽぼのはが ふまれたり、つみとられたり しても、また 生えてくるのは なぜですか。「から」という ことばを つかって 書きま

『10』

ねが生きていて、あたらしいはを
作り出すから。

(教師判断)

※理由を表す言葉「から。」がなければ2点減点。

3 たんぽぼの 花は、一日の うちに どうなる でしょうか。 に あてはまる ことばを 文しようにから らんで 書きましよう。

『15各5』

はる 日に、さく。

夕方 日がかげると、とじて

た、ずっととじている。

三 の回り かんざつして

のよう 書く、 いますか。正し

もの、 けましよう。『20各5』

(○) いる ものに たとえて 書く。

(×) きよう、あつた できごとを 書く。

(○) 数字を つかって 書く。

四 に かん字を 書きましよう。

『20各5』

一 わた 毛 二 時間 わり

3 黄色 の花。 4 多い。

(例) (教師判断)は、授業での指導をふまえて、記述より判断し、部分点を与えてください。 ※無断で複写・複製をすることを禁じます。

東 書	
2 年	3 年
令 8 こく上	
○かたかなで書くことば — 名前を見てちょうだい —	
P 54～73 名 前	
くみ ばん	
評 点	
■ 知識技能	/50
■ 思考判断表現	/50

一 つぎの 文しように 読んで、
もんだいに こたえましょう。 『65』

「あたしは かならないわ。だって、あたしの
ぼうしだもん。」

すると

から 湯気(ゆげ)が もうもうと 出(で)て きました。
そして、ぐわあんと 大(お)きな 音(おと)が しました。
「たべるなら たべなさい
いるから、あついわよ。」
湯気を 立てた えっちゃんのかみ

りました。
になって 大(お)きな 音(おと)が しました。
えっちゃんは ぼうしを 手(て)のひらを
まっすぐ のばして 見(み)てました。

とうとう

「あたしの ぼうしを
大男(おおおとこ)は、ぶるると 引(ひ)いて
ぶるぶる ふるふると 引(ひ)いて、しぼんで、
せんのように、しぼんで、しぼんで、
見えなくなりました。」



たしかに

「ああ、よかった。」
あまんきみこ「名前を見てちょうだい」より

一 〇に あてはまる ことばを
から えらんで、書きましょう。

〈20各5〉

しかし また とうとう たしかに すると

2 ①「あついわよ。」とありますが、どう
して あついのですか。「くから。」と
いう ことばを つかって、書きま
しょう。

〈10〉

(えっちゃんが)おこっているから。

※理由を表す言葉「から。」がなければ2点減点。(教師判断)

3 大男(おおおとこ)は、何(なん)のよう(よう)に しぼんで
きましたか。文(ぶん)しようにから 九(く)字(じ)で
ぬき出(だ)しましょう。

〈10〉

風	空
せ	気
ん	の
	も
	れ
	る

のように。

4 ③ ぽつんと 一つ、小さな 赤(あか)い も
のとは 何(なん)ですか。

〈10〉

(えっちゃんの)ぼうし

5 つぎの 〇に あてはまる こ
とばを 〇から えらんで 書き

〈15各5〉

お話(わたり)の 場(ば)めんに
分(わ)けるときは、お話(わたり)の 中(な)の
時(とき)か 〇に あてはまる
〇を 〇して 考(かん)えます。

人(ひと)ぶつ
(順(しゆん)不同(どう))

二

〇 たかな 〇 書く
〇 二つ 〇 〇び、
おして 〇 書きま

〈10各5〉

ピヨピヨ
(順(しゆん)不同(どう))

にほん 〇 ぴよぴよ ひらひら

三

〇に かん字(かんじ)を 書きましよう。

〈25各5〉

1 牛(うし) 2 頭(あたま) 3 外(がい)国(こく)

4 計(けい)算(さん) する。 5 親(した)しい。

東 書	
2 年	4 年
令 8 国 上	
話 こんな ことを して いるよ そう、 二年生の わたし	
P 74～85	
名 前	
組 ばん	
評 点	
知識技能	／55
思考判断表現	／45

一 山口さんの メモと 話を 読んで、
もんだいに こたえましょう。 『45』

山口さんの メモ

どんな できごとか
一年生と校でいであそんだこと。
その ときの くわし ようす
ペアの川野さんに、ぶ このこぎ方を
おしえた。

①「ありがとう。」と言っ
その ときの 気持ち
おれいを言ってくれて しかた
またいしよにあそび

山口さん 話

わたしは 一年生 心な校
ていで あそ びに
こつて います。
ペアに なった
この こぎ方を あげました。
川野さんが、②がとう 言っ
くれて、とても うれしい
になりました。
また いっしょに いろいろな
びを したいと 思います。

一 山口さんの 話したい できごとは
なんです。 メモから えらんで
十四字で 書きましょう。 『10』

一	年	生	と	校	て	い	で
あ	そ	ん	だ	こ	と		

二 山口さんの ①その ときの 気持ち
にあう ものに ○を つけましょ
う。 『10』

- () こんどは ほかの 子と あそびたい。
- (○) また いっしょに あそびたい。
- () いっしょに べんきようを したい。

三 ②「ありがとう。」のような だいじな
ところは、どのように 話すとい
ですか。 声の 大きさや 話す はや
さを 考えて 書きましよう。 『10』

大きな声でゆっくり話す。

(教師判断)

四 だいじな ところが つたわる よ
うに 話す ときに、 気をつけると
よい ことに ○を、 まちがつて い
る ことに ×を つけましよう。 『15各5』

- (○) 聞く 人の 方を見て 話す。
- (○) つたえたい ことを たしかめ
てから 話す。
- (×) だいじな ところは、 小さな
声で 早口で 話す。

二 文しように 書く とき、「はじめ」
「中」「おわり」に どんな ことを
書くといですか。 それぞれ あう
ように ●と○を せんで おすびま
よう。 『15各5』

はじめ ● いたくわい ことに 書く。つ
中 ● 何を いて つたえる
おわり ○ 思、 考えを 書く。

ては ● の 文し いうの こと あ
読んで ● こと 書きま する

ま ● つ、 スポンジに せ
んざい ● ます。 それから、 スポン
ジでおふ ● こすります。

さいごに さいごに、 あわを ながします。

四 かん字を 書きましよう。

一 人に 教 える。 二 ぼくの 家。

(例) (教師判断)は、授業での指導をふまえ、記述より判断し、部分点を与えてください。

※無断で複写・複製をすることを禁じます。

東 書	
2 年	5 国上
二つの 文しやうを くらべよう ー どうぶつえんの かんばんと ガイドブックー 言いつたえられて いる お話を 知ろう	
P86~107 前	
組	ばん
評	点
知識技能	／40
思考判断表現	／60

一 かんばんと ガイドブックの せつ明を 読んで、つぎの もんだいに ことえましょう。

かんばんの せつ明

アフリカゾウ

すんで いる 場しよ

アフリカ

体の 大きさ

体の ながさは 四 トルか

六メートル

体の おもさは 四

たべもの

くさや、

ガイドブックの せつ明

アフリカゾウ

すんで いる 場しよ

アフリカの そうげんや

森林に すんで います。

体の 大きさ

りくに すんで いる

どうぶつの 中で、もっとも

大きい どうぶつです。

体の ながさは 四メートルから

六メートル あり、体の おもさは

四トンから セトン あります。

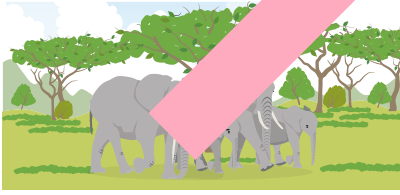
たべもの

たべものは、しよくぶつです。くさや、

木の えだや は、くだものなどを た

べます。一日の うち、おきて いる

時間の ほとんどは、たべものを たべ



2 つぎの 文の うち、かんばんと ガイドブックの りようほうに 書いてあるものを 一つ えらんで、○をつけましょう。

() りくに すんで いる どうぶつ の 中で、もっとも 大きい。

() おきて いる 時間の ほとんど は、たべものを たべて いる。

(○) くさや、木の えだや は、くだ ものなどを たべる。

3 つぎの ①から ④の せつ明は、 かんばん・ガイドブック・りようほう のどれに あてはまりますか。あう ところに 一つずつ ○をつけま しょう。

〔20各5〕

① 見出しが ある。	せつ明	かんばん	ガイドブック	りようほう
② しゃし 入った えが				
③ 言われてこ				
④ しゃし 入った えが				

二 かんばんと ガイドブックの せつ明を 読んで、つぎの もんだいに ことえましょう。

(例) かんばんと ガイドブックの せつ明を 読んで、つぎの もんだいに ことえましょう。

※昔話でも可。(教師判断)

三 かん字を 書きましょう。

〔30各5〕

一 どうぶつ 園

二 肉

三 同

四 太

五 長

六 草原

七 草

八 原

が
ふ
る。

(例) (教師判断)は、授業での指導をふまえ、記述より判断し、部分点を与えてください。

※無断で複写・複製をすることを禁じます。

東 書	
2 年	上 国 8 令
そうぞうを ふくらませて 読もう	
〇ものの 名前を あらわす ことば	
絵を 見て お話を 書こう	
P118~139	
名	前
組	
ばん	
評	点
知識技能	／30
思考判断表現	／70

一 つぎの 文しようにを 読んで、

もんだいに 答えましょう。

『60』

ももを 食べおわると、三びきの 子ねずみと
ねこは、のこった ももを もって、かえって
いきました。

あと

少 ところまで 来

た ときです。ねこは、

つと

止まって、

① できるだけ こわい か

きました。

そして、

② 「おまえたちを 食って、

きです。

と言おうとした その

ニヤー

ニヤー

ニヤーゴ

三びきが さ

「へへへ、たまお

とき、おじさん、

あの とき、おじさ

たんでしよう。そ

よならなんでは

「おじさん、はい

「みんな 一つず

おみやげ。」

「ぼくは、妹に。」

「ぼくは、おとうに。 たまおじさんは おとう

④ とか 妹 いるの。」

「おれの うちには、子どもが いる。」

ねこは、小さな 声で 答えました。

みやにしたつや「ニヤーゴ」より

から

に

あてはまる ことばを

書きましよう

＜20 各＞

すいすいと

ぴたっと

あと

だから

①

「ニヤーゴ」と さげんだのは なぜ

ですか。「くから。」という ことばを

つかって、書きましよう。

＜10＞

三びきの子ねずみを (おどかして)

食べようとしたから。

※理由を表す言葉「から」がなければ2点減点。(教師判断)

3

「ニヤーゴ」は、どんな いみでした

か。一つ えらんで () に

〇

を つけましよう。

＜10＞

() さよなら ()

() こわいよう

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

④ 「これ おみやげ」と 言って、子

ねずみは ねこに 何を わたしまし

たか。

＜10＞

もも

⑤ 「おれの うちには、子どもが い

る」を 音読するとき、どんな 声で

読むと よいですか。一つ えらんで

() に 〇を つけましよう。＜10＞

() おどかすような 大きな 声。

() こまったような 小さな 声。

() こわがっているような ふるえた 声。

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

()

三

に

かん字を 書きましよう。

『30 各5』

顔

かお

2

走

はし

る。

弟

おとうと

4

地

ち

図

をかく。

歩

ある

6

台

だい

にのる。

く。

5

台

だい

にのる。

く。

5

台

だい

にのる。

く。

5

台

だい

にのる。

聞き取り問題

※はじめにテストを裏返しにする。
必要であればメモをとる等、自分の実情に合わせた目的に応じて言明を添えてもよい。

聞き取り問題を始めます。テスト
今から青木さんが保健室の仕事に
う。

三田先生に話を聞きます。一
ますので、よく聞き、問題に答えましよ
(三十秒程度を目安に読む。)

（青木さん） 今日、保健室の仕事について、お話を聞かせてください。よろしくお願いします。

（三田先生） はい、よろしくおねがいします。

（青木さん） 三田先生は、どんな仕事をしていますか。

（三田先生） けがをした人の手当てをしたり、具合が悪くなつた人の熱をさしたりするのと同じです。きをつけています。

また、保健だよりも作っています。健康のために、みんなに知ってもらいたいことを伝えています。

以上で読むのは終わりです。テストを始めましょう。

※無断で複写・複製をすることを禁じます。

二次元コードの
読み取りもしくは
クリックで再生

音声データ



※問題文が読み上げられます。